

# 環境教育 中学校



中学校2、3年 技術・家庭科  
ティーンズTV地球データマップ  
どうする大量消費社会

🕒 20分

## 循環型社会のモデルをイメージして、 対策を考えよう

中学生が、「大量消費社会」の問題点と「循環型社会」のモデルを考える時、この番組が役立ちます。『地球データマップ』は、豊富な資料を使って現状を分析し、対策の例を紹介しています。中学生が「循環型社会」のイメージを膨らませ、対策を考えるきっかけになります。

### 番組活用のポイント

#### 地球規模で「循環型社会」を考える

生徒は、環境について小学校から中学校まで体験を通して学習を積み重ねています。その学習を発展させて、地球規模で「循環型社会」に向けた対策を考えましょう。番組では、モアイ像で有名なイースター島の文明崩壊の原因が紹介され、地球規模で「循環型社会」を考える必要性が示唆されています。続いて日本やオーストラリア、デンマークなどの事例が登場します。



東京都中野区立第五中学校  
教諭 井口豊重

#### 知識で終わらずに、具体的に行動できる対策を

番組を視聴し、身の周りを振り返り、日本、世界へと視野を広げます。

- ① 自分でできる「循環型社会」に役立つ対策を考えます。
- ② 日本の国の政策として必要な対策を考えます。
- ③ 先進国も発展途上国も含めて、世界の国が必要な対策を考えます。

#### 新学習指導要領で指導する「循環型社会」

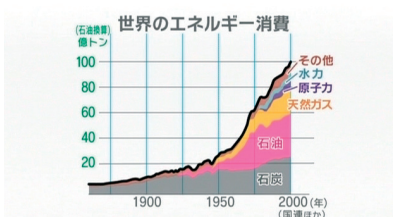
「循環型社会」と聞くと「総合的な学習の時間」の指導内容と思われませんが、技術・家庭科の指導内容にも含まれています。

技術分野では「B エネルギー変換に関する技術」において、指導要領解説には、「エネルギー変換に関する技術の進展が社会生活や家庭生活を大きく変化させてきた状況とともに、新エネルギー技術や省エネルギー技術など、エネルギー変換に関する技術が自然環境の保全などに大きく貢献していることを理解させるよう配慮する」とされています。

家庭分野では、「D 身近な消費生活と環境」「ア、自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫、実践できること。」とされています。



イースター島の文明崩壊は森林破壊から



世界のエネルギー消費量100年で約10倍

環境教育

学習展開例

(ねらい) 「大量消費社会」の問題点と「循環型社会」を考える。

	学習活動	指導上の留意点
導入	1. モアイ像で有名なイースター島の文明はなぜ崩壊したのか理由を考えてみよう。 2. 「循環型社会」のしくみを考える。	◎太平洋の孤島で何が起きたのか、規模は違うが人類が直面している問題と似ていないか考えさせる。 ◎技術・家庭科教科書の「循環型社会」を参照。
展開	3. 番組『地球データマップ どうする大量消費社会』(20分)を視聴する。 視聴 4. 番組の感想を記入する。 5. 自分の生活で可能な「循環型社会」に役立つ対策を考えて記入する。 6. 感想や自分でできる対策を発表する。(数人) 7. 日本が国内でやるべき「循環型社会」に役立つ対策を考えて記入する。 8. 世界各国がやるべき「循環型社会」に向けた対策を考えて、記入する。 9. ワークシートを提出する。	◎番組視聴に集中できるように、番組内容のあらすじを記載したワークシートを配布。(高校生の番組であるため情報量が多く展開も速いので生徒の理解を助けるために。) ◎自分でできる対策は、教師自身が日常生活で実行していることを紹介したい。(普通のことでのよい) ◎日本国内の対策では、番組で紹介されたオランダの環境税など、道徳心だけでなく、環境に配慮すると経済的にも優遇される法律を考える。 ◎地球温暖化の原因の一つと言われるCO <sub>2</sub> の国別排出量(2005年)では、日本は4%に対して、アメリカ21%、中国19%、2国で40%を占める。CO <sub>2</sub> 排出量が多い国はどのような対策が必要か、生徒に考えさせたい。経済発展やライフスタイルも含めて。
まとめ	10. 提出されたワークシートから、生徒が考えた対応策を教師が紹介する。	◎自分だけでなく、日本の国が、世界の国が「循環型社会」に向けた対策を考えて、実行することが重要であることを確認する。



原子力発電所の事故や課題



非電化冷蔵庫



デンマーク 地域で風力発電所を建設



江戸時代の循環型社会

より効果的に番組を活用するために

インターネットを使って視野を広げよう

コンピュータ室で番組を視聴し、自分の考えをまとめるときは、インターネットで情報を集めることも、考えの幅を広げる上で効果的です。

発展的課題：「循環型社会」と経済成長の両立は可能か

大量消費に支えられた経済成長は、省エネルギー、循環型社会の取り組みでどうなるか、「循環型社会」で新たな雇用の創出や経済成長はできるのだろうか、考えさせてみましょう。